

学習課題(中学校1年生)



【社会】

＜学習内容＞ 中国にならった国家づくり

○当時の日本がどのような国づくりを進めてきたのか、東アジアとのかかわりに着目しながら取組シートやノートにまとめてみましょう。

＜取り組み方＞

- (1) 教科書 P34～35「タイムトラベル③」を見て、奈良時代の人々の生活について読み取れることを書き出しましょう。
- (2) 聖徳太子（厩戸王）はどのような国づくりを目指したのか、教科書 P36～37 を参考にしてみよう。
- (3) 東アジア諸国との関係の中で、日本がどのような改革を進めてきたのか、教科書 P38～41 を参考にしながらまとめてみよう。
- (4) 奈良時代にはどのような文化が栄えたのか、宗教に着目しながら教科書 P42～47 を参考にしてみよう。

＜学習のヒント＞

- (1) 教科書 P20～21「タイムトラベル①②」を参考にしながら、縄文時代や弥生時代と比べてどのようなところが変化しているのか探してみよう。
- (2) 聖徳太子が行った国づくりは東アジアからの影響を強く受けていることに着目してみよう。また、聖徳太子が活躍した時代に栄えた文化についてもまとめてみよう。
- (3) それぞれの出来事が起きた年号にも着目しながら、律令国家が成立するまでの流れや律令国家のしくみについて調べてみよう。また、土地制度や税制度が人々の生活に与えた影響についても、教科書 P40～41 を参考にしてみよう。
- (4) 天平文化について、「どの地域からの影響を受けているのか」「どのようなものが生まれているのか」「当時の人々にどのような影響を与えたのか」などの視点で調べてみるとよいでしょう。